作成日　2015/08/18
改訂日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	シプロコナゾール
製品コード	99052241
供給者の会社名称	林 純薬工業株式会社
住所	大阪府大阪市中央区内平野町3丁目2番12号
担当部門	マーケティング・商品開発部　商品企画グループ
電話番号	06-6910-7290
緊急連絡電話番号	06-6910-7290
FAX番号	06-6910-7340
URL	http://www.hpc-j.co.jp
E-mail	mpd@hpc-j.co.jp

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性	急性毒性(経口) 区分3
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分外
	皮膚感作性 区分外
	生殖細胞変異原性 区分外
	生殖毒性 区分2
環境有害性	水生環境有害性(急性) 区分1
	水生環境有害性(長期間) 区分1
	上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素
絵表示

注意喚起語	危険
危険有害性情報	H301 飲み込むと有毒
	H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
	H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
注意書き	
安全対策	使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
	すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)
	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
	環境への放出を避けること。(P273)
	保護手袋を着用すること。(P280)
応急措置	飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)
	ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313)
	特別な処置が必要である。(P321)
	口をすすぐこと。(P330)
	漏出物は回収すること。(P391)

保管　施錠して保管すること。(P405)

廃棄　内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　化学物質

化学名又は一般名　(2RS,3RS;2RS,3SR)-2-(4-クロロフェニル)-3-シクロプロピル-1-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イル)ブタン-2-オール

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
シプロコナゾール	95.0%以上	$C_{15}H_{18}ClN_3O$	5-6266	8-(3)-854	94361-06-5

分類に寄与する不純物及び安定化添加物　情報なし

4. 応急措置

吸入した場合　空気の新鮮な場所に移し、安楽に待機させ、窮屈な衣服部分を緩めてやる。

医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合　汚染した衣服、靴、靴下を脱がせ遠ざける。接触した身体部位を石鹸と水で十分洗う。

医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合　直ちに清浄な流水で15分以上洗眼する。

医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合　口をすすぐこと。

特別な処置が必要である。

直ちに多量の水を飲ませる。

医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤　水噴霧、粉末消火薬剤、二酸化炭素、泡消火薬剤、乾燥砂

使ってはならない消火剤　高圧棒状放水

特有の危険有害性　火災時に刺激性もしくは有毒なフュームまたはガスを発生する。

特有の消火方法　周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。

移動不可能な場合、容器及び周囲の設備等に散水し、冷却する。

着火した場合、初期消火は、火元(燃焼源)を断ち、適切な消火剤を用いて一挙に消火する。

消火を行う者の保護　消火作業の際は、空気呼吸器を含め防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置　直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外は近づけない。

適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

立ち入る前に、密閉された場所を換気する。

作業の際には、吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、必ず適切な保護具を着用し、風下で作業を行わない。

環境に対する注意事項　環境中に放出してはならない。

本製品は、水汚染物なので土壌汚染、もしくは排水溝及び排水系及び大量の水に流入することを防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材　漏出物は、粉塵を発生させないように注意し、できるだけ掃き集めて密閉できる空容器に回収し、安全な場所に移動する。

回収跡は多量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用して作業する。 長時間または反復の暴露を避ける。 漏れ、あふれ、飛散しないように取扱い、ミスト、蒸気の発生を少なくし、換気を十分にする。 作業後は容器を密栓し、うがい手洗いを十分にする。 取り扱う場合は局所排気内、又は全体換気の設備のある場所で取り扱う。
安全取扱注意事項	使用前に使用説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 接触、吸入又は飲み込まないこと。 環境への放出を避けること。

保管

安全な保管条件	施錠して保管すること。 直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。容器を密閉し、火気、熱源より遠ざける。
安全な容器包装材料	遮光した気密容器

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
シプロコナゾール	設定されていない		

設備対策	取扱場所での発生源の密閉化、または局所排気装置、全体換気装置の設置。取扱い場所の近くに安全シャワー、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸器の保護具	防塵マスク、自給式呼吸器(火災時)。
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具	保護服、保護長靴、保護前掛け。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態	固体
形状	固体
色	無色
臭い	情報なし
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	データなし
融点・凝固点	106.2-106.9℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	>250℃
引火点	引火せず
蒸発速度	情報なし
燃焼又は爆発範囲	データなし
蒸気圧	2.6×10^{-2}mPa (25℃)
比重(密度)	1.25g/cm^3 (25℃)

溶解度	水:93mg/l (22℃)、 アセトン:360、エタノール:230、メタノール:410、DMSO:180、キシレン:120、トルエン:100、ジクロロメタン:430、酢酸エチル:240、ヘキサン:1.3、オクタノール:100 (g/l, 25℃)
n-オクタノール/水分配係数	K_{ow} logP = 3.1
動粘性率	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の取扱条件では安定。熱、酸、アルカリ、光に安定。酸化分解は115℃で開始し、続いて300℃で熱分解が開始する。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	日光、熱。
混色危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	マウス♂のLD_{50}値:200 mg/kg及び、マウス♀のLD_{50}値:218 mg/kgより、区分3とした。
急性毒性(経皮)	ウサギのLD_{50}値:>2000 mg/kg
急性毒性(吸入:粉じん)	ラットのLC_{50}値:>5.65 mg/L(4h)
皮膚腐食性及び刺激性	ウサギを用いた皮膚刺激性試験において、刺激性は認められなかったことから、区分外とした。
皮膚感作性	皮膚感作性なし(guinea pigs)。
生殖細胞変異原性	細菌を用いた復帰変異試験、Rec-assay、CHO培養細胞を用いた染色体異常試験の結果は、いずれも陰性であったことから区分外とした。
生殖毒性	Wistarラットを用いた強制経口(6、12、24、48mg/kg)投与による催奇形性試験において、48mg/kg投与群で胎児動物の内水頭症、口蓋裂が、24mg/kg以上の投与群で母動物の体重増加抑制、摂餌量低下、胎児動物の低体重等が認められる。母体毒性を現す高用量において催奇形性が認められる。以上の結果より、区分2とした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)	藻類(*Scanedesmus subspicatus*)の96時間EC_{50}=0.077mg/Lから区分1とした。
水生環境有害性(長期間)	急性毒性区分1であり、急速分解性がないと考えられることから区分1とした。
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に、内容を明示して処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	IMOの規定に従う。
UN No.	3077
Proper Shipping Name	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S.
Class	9
Packing Group	Ⅲ
Marine Pollutant	applicable
Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex Ⅱ, and the IBC code	Not applicable

航空規制情報	ICAO／IATAの規定に従う。
UN No.	3077
Proper Shipping Name	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S.
Class	9
Packing Group	Ⅲ
国内規制	
陸上規制	該当しない
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
国連番号	3077
品名	環境有害物質（固体）
国連分類	9
容器等級	Ⅲ
海洋汚染物質	該当
MARPOL 73/78 附属書II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
航空規制情報	航空法の規定に従う。
国連番号	3077
品名	環境有害物質（固体）
国連分類	9
等級	Ⅲ
特別の安全対策	運搬に際しては、容器の転倒、損傷、落下、荷崩れ等しないように積み込み、漏出のないことを確認する。
緊急時応急措置指針番号	171

15. 適用法令

外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項
船舶安全法	有害性物質（危規則第2，3条危険物告示別表第1）
航空法	その他の有害物件（施行規則第194条危険物告示別表第1）

16. その他の情報

参考文献	国際化学物質安全性カード(ICSC)
	16615の化学商品(化学工業日報社)
	独立行政法人　製品評価技術基盤機構
	The Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH
その他	当該製品の化学物質製品を取り扱う事業者に対して提供するものであり、安全を保証するものではありません。
	現時点における該当化学物質の情報を全て検証しているわけではありません。
	当該化学物質について常に未知の危険性が存在するという認識で、製品運搬・開封から廃棄に至るまで、安全を最優先して使用者自己の責任においてご使用下さい。
	当該化学物質を使用する際は、使用者自ら安全情報を収集すると共に使用される場所・機関・国などの、法規制等については使用者自ら調査し最優先させてください。
	国または地方の規制についての調査は、当社としては行いかねますので、この問題については使用者の責任で処理願います。
	このSDSは林 純薬工業株式会社の著作物です。
	当該物質の日本語によるSDSと他国言語にて翻訳されたSDSが存在する場合、内容の相違があるなしに関わらず日本語で記述された文書が優先され他国言語による文書は参考文書とします。